

# 福寿園だより

Vol. 49

平成24年4月10日発行



- ◆特別養護老人ホーム福寿園…………… 定員100名  
(うちショートステイ20名)
- ◆ケアハウスさくら荘…………… 定員30名
- ◆福寿園デイサービスセンター…………… 定員42名  
(うち認知症12名)
- ◆福寿園ヘルパーステーション
- ◆福寿園居宅介護支援センター
- ◆原町東地域包括支援センター

編集  
発行

社会福祉法人 南相馬福祉会

〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町2-70  
TEL (0244)25-2811  
FAX (0244)25-2812  
URL <http://minamisoma.ask-daiko.co.jp/>  
MAIL [fukujuen@chive.ocn.ne.jp](mailto:fukujuen@chive.ocn.ne.jp)



## みんなで 手作り雛人形



## 就任にあたって

常務理事兼福寿園施設長

大内 敏文

4月1日付の人事異動により、前任者の坂下昌弘施設長の後任として鹿島区万葉園より就任いたしました。よろしくお願ひ申し上げます。

坂下施設長には、昨年の東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故により緊急的な避難、再開に向けた道筋と取り組みなど大きな決断を迫られ適時に対応されたご苦労には、感謝と敬意を表するものであります。

私は、平成10年に法人に入職し福寿園建設、開設のため建設地の片隅のプレハブから現在まで法人運営に関わって参りました。

平成11年に大きな市民の期待を受け、希望に輝く開設スタッフと日夜奮闘し、ご利用者、ご家族、地域から一日も早く安全で安心して信頼される施設を作ろうとの目標に篤い志を持って職員と一丸となって歩んできたことを思い出します。

施設の運営理念としては、ご利用者お一人おひとりの思いを大切にし、個人としての生活、暮らしを尊重し、ご利用者のできることに目を向け自分で決める喜びを感じられる生活支援を重視してまいります。

最後になりますが、今後とも関係各位にはご指導、ご支援を切にお願い申し上げます、就任の挨拶と致します。

# ハッピーデー (福寿園デイサービス)

## みんなで作 手作り雛人形

弥生3月……と言っても、春の気配はまだまだ感じられず、30センチを超える積雪のあった土曜日。雛祭りの日は雪景色でした。

デイサービスでは、2月の中旬より雛人形を飾っていました。利用者の皆さんも自然と顔がほころんでくる様子。

『やっぱり綺麗ね。良いわね。』とお話しをされていました。

自分の幼少の頃や、娘さんの成長期を思い出されている方もいたようです。

当日は、雛人形を作成し、ご家庭にも持って帰って頂けるように……と計画を立てました。



担当職員が事前にお内裏様とお雛様の顔を作成、準備していたので、当日は干代紙で着物を

形作り、糊付けする作業を行いました。4グループに分かれて、作業を開始。皆さん作り方に興味津々の様子で『次はどうするの？これはこうすれば良いの？』と矢継ぎ早に職員へ質問しながら、自分の作業を進めていきます。徐々に雛人形の形が出来てくると、嬉しそうに『できた、できた』と笑顔を見せていました。

途中でハサミを使う部分もありましたが、怪我をする方もなく無事に作り上げることができました。

雛人形をモビール型に作成し、吊るし雛の完成です。

多くの方々から、帰り際に『かわいい雛人形、家にも飾っておくからね。今日の雪にはびっくりしたなあ。運転大変だったべ。お疲れ様』と声を掛けられました。職員を気遣って下さる皆さんの優しさに、心が温かくなった一日でした。

## 節分 皆で豆まき

2月に豆まきを行いました。豆まきをする意味合いとしては、『邪気を追い払い、福を呼び込むように豆をまく』という昔からの風習があります。

普段は姿の見えない鬼に豆をまく訳ですが、この日ばかりは2匹の鬼に登場してもらいました。(デイサービスの男性職員ですが……)



『鬼は外〜！福は内〜！』の大きな掛け声をかけながら、次々と鬼に目掛けて落花生をぶつけていきます。

普段は物静かな方や、手を動かす事の少ない方でも、勢いをつけて豆をまいています。鬼がなかなか退散しない為『早く！もっと豆をよこして！』と豆のお代わり注文をする方もいました。

椅子に座っての豆まきだったので、立ち上がって転倒する方がいないように、職員が気を付けた事もあって、無事に終了できました。皆さんが笑顔で行っていたのがとても印象的でした。

昨年は気持ち沈んでしまうような事ばかりだった為、今年は皆さんが笑顔で過ごせるような『福』が舞い降りることを願うばかりです。

# かけはし 福寿園居宅介護支援センター

大震災後、入院可能な病院のベッド数が少ない、介護協力が避難をしている等など介護を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。

南相馬市の新規の要介護認定者数は増加傾向にあるのですが、市内の介護サービス事業所の再開も増えてきています。4月にはショートステイのサービス事業所が区内3ヶ所となります。しかし、まだ職員数の不足等により、完全な運営、事業再開に至っていない事業所も多いので、介護サービスの利用予定や希望についてはケアマネジャーと早めに相談したり、たくさん情報をもらって意向をまとめていかれた方が良いと思います。

介護保険制度の特徴の一つは、様々なサービスや事業所を組み合わせて総合的に支援していくプランを本人や家族と相談して作成、実施出来るということです。「〇〇の事業所にお世話になっているから……」「こういうことはお願いできないかな？」と言出し難いことがあるかもしれませんが、活用できる社会資源を上手に利用することが今の復興地域では最も大切だと思います。

# 大震災から一年

前常務理事兼福寿園施設長

坂 下 昌 弘



思い出こします。

3月11日大津波が沿岸部の郷土の総てを飲み込み、多くの被災市民が避難所生活となったのもつかの間、今度は原発事故で避難、当施設利用者も全員の県外避難を余儀なくされた。高台にあった私の自宅も完全に津波で消え去り、家財一つ残らず、庭には流されてきた車数台と瓦礫が折り重なっていた。130世帯余の集落自体、数軒を残し津波が多くの人命と財産を奪い去ってしまった。未曾有の大震災、悪夢であって欲しいと皆願ったに違いありません。震災後、福寿園も昨年6月にデイサービスを、10月には特養を再開させることができましたが、未だ震災前の状況に戻っていない中、私こと本年3月末で退任させていただくことと

ようやく温かな春の日差しが目に入る3月、一年前の東日本大震災を

なりました。法人創立10周年記念事業や小高区へのグループホーム建設など様々、内外部にわたり広く法人運営の決定に携わらせていただきました。平成19年4月の就任時、福祉行政経験のみで民間事業経営経験のない私がこの介護拠点施設である福寿園運営が務まるかの不安がありました。職員の的確な判断とアドバースにより今日までその職を支えていただき、理事長様はじめ幹部職員には感謝に耐えません。安定した経営と発展は資源である人材があつてこそ。すべては後任者に委ね、更なる法人発展を祈念しつつ、ご利用いただいているご家族様はじめ、ご支援、ご協力いただいております関係各位に心からお礼申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



## 愛

### \*こんたくと！\*

#### ヘルパーステーション

やわらかな陽光は「春」を感じさせてくれ、心が和みますね。昨春以来、これまでに経験したことのない出来事が数多くあり、戸惑いながらの日々。それでも時は巡り、新年度を迎えました。今年度は介護保険制度の改正があり、私たちホームヘルパーの業務は新制度の下でのサービス提供が始まっています。中でも生活援助は、サービス提供時間の区分が見直され、改定された介護報酬と併せ、援助内容について、今までより更に援助の妥当性・必要性を明確にすることが求められます。職員一同、改正された内容をしっかりと理解し、皆様に安心してご利用いただけるよう努めてまいりますので、今後どうぞ宜しく願っています。

さて、「新しい」の話題をもう一つ。

この度、当事業所の主任ヘルパーが交代し、川久保に代わり森田晃子が主任を務めさせていただくこととなりました。若さ溢れ、元氣と行動力のある頼もしい主任です。前主任の川久保は副所長として、これまで同様に皆様の元へお伺いいたします。新体制となり、より一層地域の皆様に信頼される事業所として成長していきたいと思っております。

どうぞ宜しく願っています！

こんにちは

## 原町東地域 包括支援センター です！

新しい年度を迎え、地域包括支援センターもまる6年が経ち、7年目となりました。地域のみなさんに地域包括支援センターの名前は広く知ってもらえるようになったでしょうか？ここで簡単に当センターをご紹介します。

当センターの仕事は、本来市が行うところを（直営）、南相馬福祉会が業務委託を受けて行っています。

又、3職種と言われる主任ケアマネジャー・社会福祉士・保健師が中心となつて高齢者のみなさんを総合的に支える相談窓口です。介護サービスを受けるための相談や、消費者問題、虐待通報といった権利を守ること、健康や生活に関する心配ごと等々気軽に相談していただければと思います。

南相馬市には地域包括支援センターが2ヶ所あり、相談窓口は居住する地区によって異なります。担当地区にお住まいの方は ☎24-33390 へお問い合わせします。

最後に、4月から新しいスタッフが加わりました。主に要支援認定を受けている方のケアプラン作成を担当致します。5名体制となった当センターを今後も宜しく願います！

# ケアハウス さくら荘

## ＊ 雛祭り

3月3日、コーラス南相馬市女声合唱団「はなみずき」の皆様16名が来園し、素敵な歌を披露して頂きました。

手作りの雛人形を前に「うれしい雛祭り」、その他数曲を披露していただきました。

又、発声の仕方でも音色が変わることを体を使って楽しく教えていただきました。

この度の震災で半数以下に減ったメンバーが活動開始できたことを大変喜ばれており、何曲も利用者からのリクエストにも応えていただき楽しい一時を過ごすことができました。



## チョコレートフォンデュ

2月12日、バレンタインディに合わせ、チョコレートフォンデュ作り、そして3月11日にはホワイトチョコフォンデュを作りました。

お湯でチョコレートを溶かし、苺やシュークリーム、バナナを絡めて食べました。

「甘くて美味しい」と利用者の皆さんの顔が印象的でした。



## たこ焼き作り



2月27日に利用者の皆さんとたこ焼きを作りました。

たこ焼きを焼く作業は主に職員で行いましたが、その他の盛り付けや配膳は、利用者の皆さんも積極的に手伝ってくれて、とても和やかに進行することが出来ました。

利用者の皆さんの中には、たこ焼きを焼く調理器具を見るなり「初めて見た」と言われる方もおり、できたてのたこ焼きは、絶品で美味しく食べる事ができました。



寄付 (1月14日～3月9日)

◎小谷津安一様(原町区雫) 寄付金  
◎門馬 厚子様(原町区深野) 寄付金

義援金 (1月14日～3月9日)

◎福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会

寄贈 (1月14日～3月9日)

◎パラグアイ豆腐支援株式会社ギアリンクス様(岐阜県中津川市) 豆腐  
◎村井八重子様(原町区仲町) 雛人形飾り  
◎氏家 経夫様(伊達郡川俣町) 米  
◎萱沼きく江(萱沼和室教室)様  
(横浜市港北区) 綿入れ絆纏

ボランティア (1月14日～3月9日)

- ◎歌の集い(第2水曜日) 南地区福祉委員会様
- ◎コーラス 南相馬市はなみずき女声合唱団様
- ◎洗濯物整理 鈴木 照子様
- ◎歯科衛生士 NPO法人口腔健康科学ネットワーク様
- ◎軽介助 鈴木 良子様
- ◎書道 渡部 真子様
- ◎ハーモニカマジック 加藤様・佐久間様

## 編集後記

大震災から一年が経ち、少しずつ震災前の生活に戻りつつあります。委員一同、今後よりよい広報作りに努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。